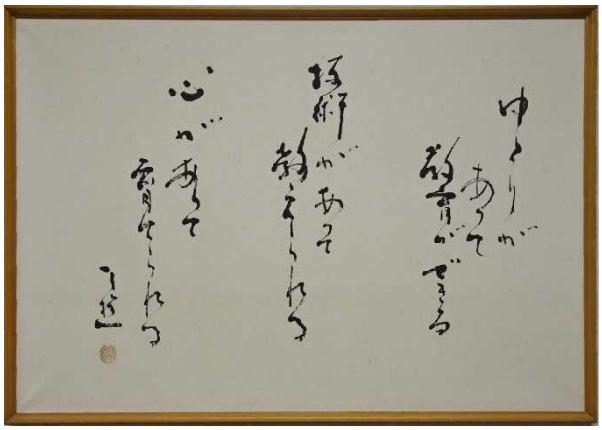
清南小だより

～たくましい子・思いやりのある子・よく学ぶ子～

R６・１１・２９
校長　佐藤　裕

ゆとりがあって教育ができる　技術があって教えられる　心があって育てられる



校長室に右の書道作品が飾られています。書の美しさとともに，書かれている言葉の奥深さを感じます。「ゆとり」とは，ただ時間的な余裕を意味するだけでなく，子供たちが自ら考え，学び，成長するための心のゆとり，そして大人が一人一人の子供に向き合うための時間的なゆとりを指すものだと考えます。ゆとりある教育環境の中でこそ，子供たちは多様な価値観に触れ，自ら問いを立て，創造性を育むことができます。

「技術」は，教員が専門性を高め，子供たちに効果的な指導を行うための基盤です。全ての教員が授業力・学級経営力を高め，一人一人の個性や発達段階に合わせたきめ細やかな指導を行うことで，子供たちの学習意欲を高め，分かりやすい授業を実現することができると考えます。

そして「心」は，教育の原点です。子供たち一人一人を大切にし，温かい眼差しで向き合うことで，子供たちは心身ともに健やかに成長することができます。大人は，単に知識を伝えるだけでなく，子供たちの心の成長を促し，社会で生きていく上で必要な人間性を育む役割を担っています。

保護者や地域の皆様のご理解・ご協力のもと，子供たちの健やかな成長を，共に見守っていければと思います。

１１月２８日（木）　感謝の会・地域ふれあい給食

自治会長様・地域協議会の皆様・読み聞かせボランティア「南風」の皆様・学習ボランティアの皆様・青色パトロールの皆様・交通指導員さん等をお招きして，児童会主催の感謝の会が実施されました。今年度は，久しぶりに，児童と来賓の皆様，教職員が体育館に一堂に会して開催することができたことを大変嬉しく思います。

初めに，代表児童から日頃から私たちの学校生活を支えてくださっている地域やPTAの皆様へ，「お礼の言葉」が述べられました。続いて，感謝の気持ちを込めて作ったお手紙やお花を贈るとともに，気持ちを込めて「ありがとうの花」の歌をプレゼントしました。

来賓の皆様からは，代表して柴山 明 様から「今日は『ありがとう』の言葉をたくさんもらいました。感謝の気持ちを忘れずに頑張ってください。」との言葉を頂くとともに，一人一人から子供たちへ，励ましの一言を掛けていただきました。感謝の会の後には「地域ふれあい給食」も開催され，来賓の皆様と２年生の児童が一緒に給食を食べ，楽しい時間を過ごしました。

日頃からお世話になっている地域やPTAの皆様へ向けて，全校児童で心を込めて感謝の気持ちを伝えることができました。ありがとうございました。

特色ある学校づくり「～本，地域，人とのふれあい～」を通して

１１月２日（土）　ＰＴＡ　清南まつり　地域

たくさんの児童や保護者，地域の皆様に参加いただき，各コーナーで盛り上がりを見せていました。両手からあふれるほどの景品を抱えた子供たちが，笑顔で行きかう様子が見られました。今回は，飲食可能となり，各種飲み物や唐揚げ，焼き菓子などのキッチンカーも出店し大盛況でした。また，ポンプ車の展示や，３年生の社会科に関連した消防団の方へのインタビュー収録も行われました。笑顔あふれる楽しい「清南まつり」となりました。

学校農園でサツマイモの収穫をしました！　地域

５月に植えたサツマイモが大きく育ち，収穫の秋を迎えました。１年生と６年生，２年生と５年生，３年生と４年生が一緒になって畑へ向かい，マルチをはがしスコップで土を掘ると，大きなサツマイモがごろごろと顔を出しました。収穫したサツマイモは，児童一人一人に配って家へ持ち帰ったり１１月２０日（水）の給食で「さつまいものシチュー」の材料として提供されたりして，子供たちの味覚を十分に楽しませてくれました。児童からは，畑を貸して下さった古山 大功(こやま ひろかず)様へお手紙を贈り，感謝の気持ちを届けました。

１・６年生　１１月５日（火）　**３・４年生　１１月６日（水）**　**２・５年生　１１月６日（水）**

１１月７日（木）　２年３組　校長による読み聞かせ「カラスノエンドウのたねがとんだ」　本

今年の５月に，動植物をテーマとした児童向け科学読み物や絵本を出版している高柳芳恵さんより，サイン入りの本「カラスノエンドウのたねがとんだ」及び小学図書館ニュース「学校にあるあの木はなあに？」を寄贈していただきました。高柳さんは，約６０年前に鐺山町に住んでいて，清原南小学校に通っていた私たちの先輩です。家庭の都合で６年生の２学期に引っ越しましたが，自然豊かな清原の地域で過ごした小学校時代の楽しい思い出が現在の仕事をするきっかけとなったとのことでした。今回，高柳芳恵さんが執筆した「カラスノエンドウのたねがとんだ」と「どんぐりの穴のひみつ」の読み聞かせをしました。たくさんの「ふしぎ」を見つけた子供たちの関心の高まりが感じられました。

１１月１９日（火）　４年生　水辺の楽校　人

平成１９年度，桑島町の鬼怒川沿いに国土交通省の川づくり事業の一環で「水辺の楽校」が完成し，地域の子供たちが川を楽しみながら自然を学べる場所として活用されてきました。今回は，きよはら水辺の楽校協議会の古澤勝司 会長をはじめ，役員の井上治 様，齋藤義明 様，信賀良夫 様にご支援をいただき，４年生がシルクスイートという比較的新しい品種のサツマイモの収穫を行いました。

サツマイモ掘り体験を通して，地域の方へ感謝の気持ちをもつとともに，身近な自然のすばらしさを感じることができた様子です。